

**NOHMI**  
ワイヤレス連動型

住宅用火災中継アダプタ

# かんたん登録 設置ガイド

FSOJ002A-B

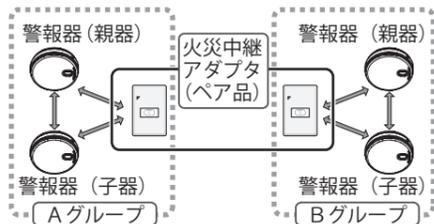
**注意**  
本書は、住宅用火災中継アダプタのグループ登録および設置についての簡易説明書です。製品付属の【登録・設置説明書】および【取扱説明書】の内容を必ずお読みください。

システム構成などの詳しい内容については、付属の黄色紙【登録・設置説明書】を参照してください。各グループの警報器は、警報器に付属する「かんたん登録・設置ガイド」を参照し、あらかじめ登録・設置してください。

連動可能火災警報器型名 (別売) **FSKJ226** シリーズなど  
**FSLJ016**

## 登録しよう!

2グループを火災連動させるため、各グループの警報器(親器)に火災中継アダプタを登録します。登録しないと連動できません。(2つのグループをAグループ・Bグループとします。)



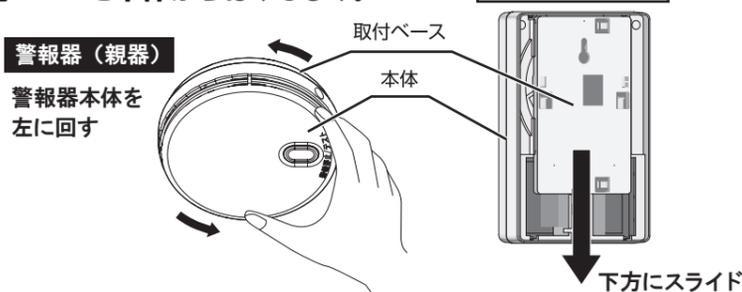
## 用意するもの

本書は、警報器(親器)をFSKJ226-Mで説明しています。

- 火災中継アダプタ(ペア品)
- 警報器(別売)
- 専用リチウム電池
- シールシート
- ボールペンなどの先が細くて折れないもの(お客様で準備)

## ステップ 1 登録準備をする

取付ベースを本体からはずします。



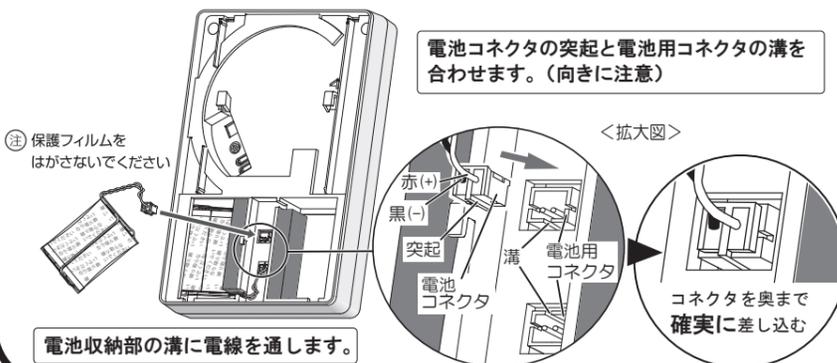
周波数(無線チャンネル)設定を変更します。

Aグループ		Bグループ	
CH1	1 0	1 0	CH1
2	N	2 N	2
1, 2スイッチ (火災中継アダプタ間通信用)			
CH1	3	3	CH3
4	N	4	N
3, 4スイッチ (グループ内連動用)			

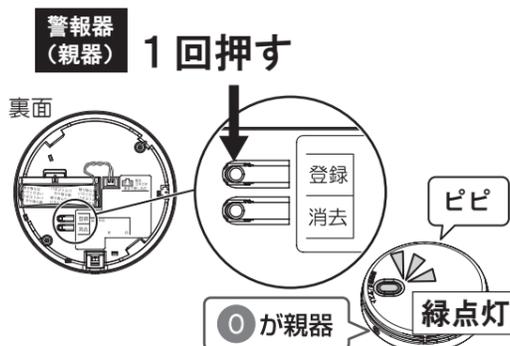
- Aグループが「CH1」、Bグループが「CH3」の設定例です。
- 警報器の周波数(無線チャンネル)は、警報器の「取扱説明書」2.1 基本的な登録・消去の②無線チャンネルの確認・変更を参照し、確認してください。

電池コネクタを差し込んでから、専用リチウム電池を2組取り付けます。(ペアの2台とも)

- 警報器についても電池が取り付けられていること。



## ステップ 2 Aグループを登録する



- 警報器(親器)の表示灯が緑点灯している間、機器を登録できます。機器の『登録』ボタンを押さない状態が1分以上続くと、警報器(親器)から「〇台登録」と鳴り登録モードが終了します。
- 警報音が「ピピピピ」などの場合、付属の黄色紙【登録・設置説明書】の3.1 登録の④火災中継アダプタと警報器(親器)の登録を参照のうえ、対処してください。



## ステップ 3 Bグループを登録する

ペアの火災中継アダプタを、Bグループの警報器(親器)に登録します。

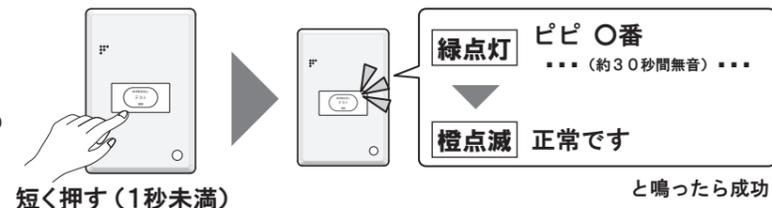
登録方法は **ステップ 2** と同様です。

## ステップ 4 動作を確認する

✓チェック!  火災中継アダプタ(ペア2台)で1台ずつ通信テストをする

火災中継アダプタの『テスト』ボタンを短く(1秒未満)押します。

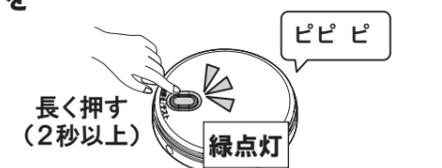
- 「〇番」は、登録番号が鳴ります。
- 違う警報音の場合、付属の黄色紙【登録・設置説明書】の4.1 電波状態の確認(仮設置)の(テスト結果)を参照のうえ、対処してください。



連動を確認する

連動登録しているいずれかの警報器の『警報停止/テスト』ボタンを長く(2秒以上)押します。操作音が「ピピ」と鳴り、表示灯「緑」点灯後、そのまま2秒以上押し続けます。

- 連動に約4~4.5秒かかります。
- 登録しているすべての警報器が連動して火災警報音を鳴動することを確認してください。
- 火災中継アダプタは火災警報音を鳴動しません。



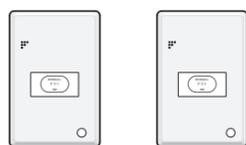
# 設置しよう！

『テスト』ボタンの操作が可能な壁面で  
設置位置を決めてください。

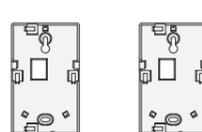
操作説明シールは、表面のわかりやすい  
位置に貼り付けてください。



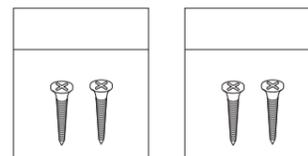
## 用意するもの



● 火災中継アダプタ本体  
(電池取付済み)



● 取付ベース  
(出荷時に本体に取り付けてあります)



● 取付ネジ



● シールシート



● ⊕ドライバー  
(お客様で準備)



● 油性ペン  
(お客様で準備)



● 安定した台  
(脚立など)  
(お客様で準備)

## ステップ 1 電波状態を確認する

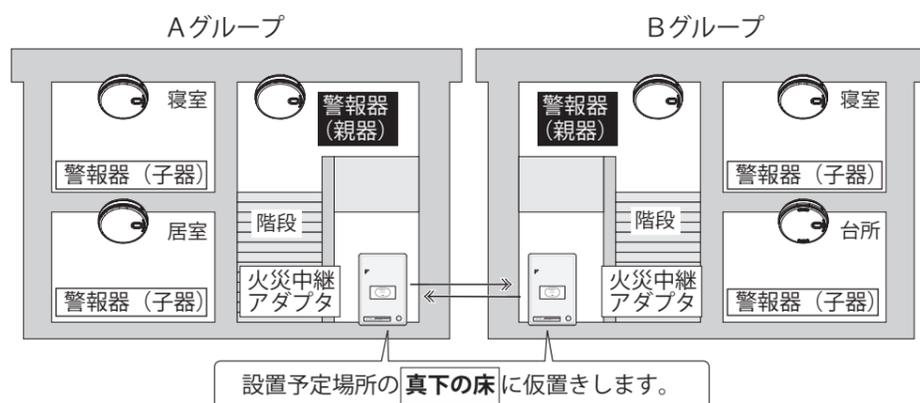


必ず守る

必ず電波状態を確認してから設置する。  
電波状態を確認しなかった場合、電波異常となる可能性があります。

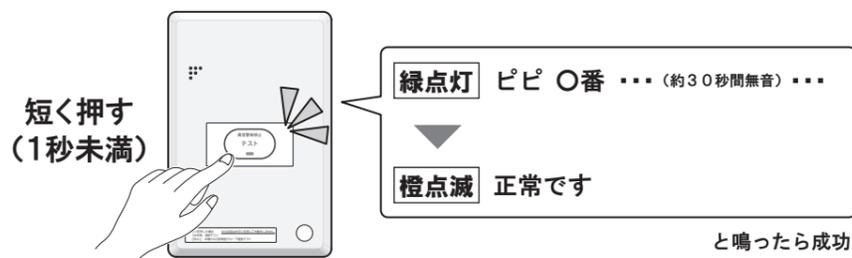
火災中継アダプタを、設置予定場所の**真下の床**に仮置きします。

- 警報器に付属する「かんたん登録・設置ガイド」を参照し、火災中継アダプタを設置する前に警報器を設置しておいてください。



すべての火災中継アダプタで**1台ずつ**  
『テスト』ボタンを短く(1秒未満)押します。

警報音が鳴り終わってから、次の火災中継アダプタを確認してください。

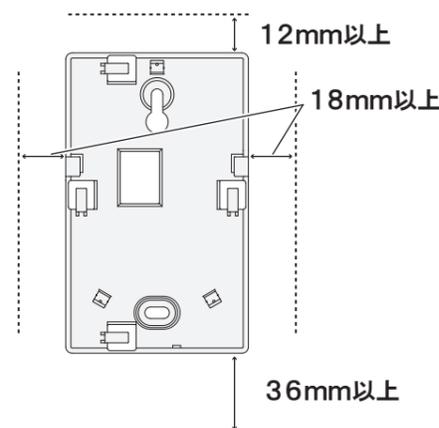


- 「○番」は、テストをした火災中継アダプタの登録番号が鳴ります。
- 違う警報音の場合、付属の白色紙【取扱説明書】の 3.2 機能を確認する の ① 通信テスト の (テスト結果) を参照のうえ、対処してください。

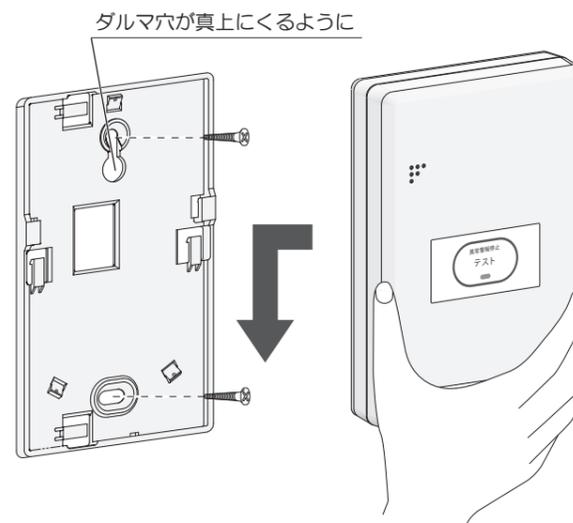
## ステップ 2 取り付ける

取り付ける前に、本体側面に油性ペンで設置年月を記入してください。

空きスペースを確保します。



取付ベースを取付場所にネジ止めします。



本体を取付ベースと合わせ、  
下方にスライドさせてください。

## ステップ 3 動作を確認する(通信テスト)

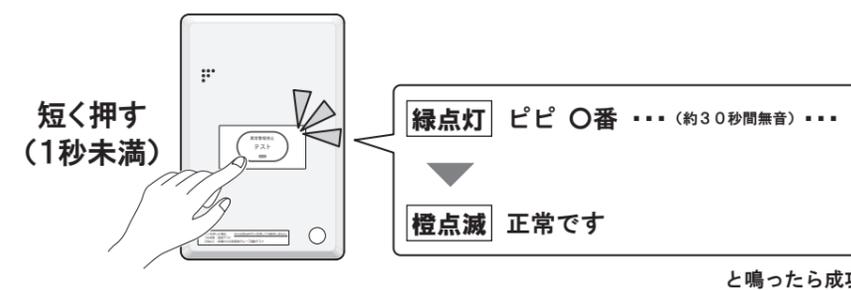


必ず守る

通信テストは省略せず、必ず実施する。  
機器の状態は連動テストでは確認できません。

すべての火災中継アダプタで**1台ずつ**  
『テスト』ボタンを短く(1秒未満)押します。

警報音が鳴り終わってから、次の火災中継アダプタを確認してください。



- 「○番」は、登録番号が鳴ります。
- 違う警報音の場合、付属の黄色紙【登録・設置説明書】の 4.3 設置後の確認 の (テスト結果) を参照のうえ、対処してください。